

愛知県議会議員 わたらい克明の 県政ジャーナル

—議会だより—

2014年初夏号（第60号）

発行人 わたらい克明事務所
豊橋市舟原町155 舟原マンション203

人と地域と政治をつなぐ県政ジャーナル

地域包括ケアシステムで福祉の充実を!

太田国交相が三河港視察

地元出身の太田昭宏国土交通相(公明党)が4月19日、三河港(県管理で豊橋市、田原市、蒲郡市、豊川市にまたがる)を訪れ、耐震補強工事が行われる神野西心頭の岸壁(延長260m)を視察しました。私も同行させていただきました。

三河港は、自動車貿易を中心とした国内有数の物流拠点で、完成車の輸入では台数・金額ともに21年連続日本一で、輸出は名古屋港に次いで日本第2位です。自動車貿易ではトップクラスの取り扱いを誇り、世界を代表する自動車港湾として発展し続けています。



また、コンテナ貨物取扱量も昨年、ロシア・ウラジオストックへの航路就航もあり、過去最高を大きく更新するコンテナ取扱量6万TEU

を突破しました。

このように、その重要性から港内の耐震化が急がれています。この度、豊橋コンテナターミナルがある同港の神野西



心頭を太田国交相が視察されたことは大変喜ばしいことであり、私たちにとっても大きな励みとなりました。

さらに、夕方の首長・経済団体との懇談会後、マスコミ取材の中で、三遠南信自動車道を南進し名豊道路とタッチする浜松三ヶ日・豊橋道路の必要性に触れ、県境をまたぐ三河港へのアクセス道路として、国直轄で調査する旨を発表されました。

その重要性を訴え続けてきた私にとって、この日一番のビッグニュースとなりました。今回の大蔵の視察で状況が大きく動きました。私も地元の議員として、さらに地域発展のために力を尽くしてまいりたいと決意しました。

トピックス

「愛知県議会の議員の定数並びに選挙区及び各選挙区の議員の数に関する条例」の一部改正をしました
改正内容は、総定数については、現行の103名から1名減員し、102名としました。

選挙区については、日進市及び愛知郡選挙区を1名増員し、名古屋市北区選挙区と西尾市選挙区をそれぞれ1名減員するとともに、岡崎市選挙区と額田郡選挙区を合区することとしました。（1増2減）

なお、合併特例法の特例期間が満了する、現行の海部郡選挙区については、その区域と定数を変更しないこととしました。

「愛知県子どもを虐待から守る条例」を制定しました
ここ数年、県内では、痛ましい児童虐待事件が発生

し、中には、尊い命までもが奪われるような事案もありました。これらが報道されたことにより、社会的な関心が高まり、児童虐待の通報や対応件数は右肩上がりで増え、深刻な状況が続いております。

子どもに対する虐待は、重大な人権の侵害であり、理由のいかんにかかわらず、決して許されるものではありません。社会全体として、子どもを虐待から守る環境づくりが今、われわれに求められています。

そこで、児童虐待にかかる現状を憂い、子どもを虐待から守るだけでなく、虐待の発生そのものの防止に関する施策を、総合的かつ計画的に推進するための条例が、是非とも必要であると考え条例制定を強力に推進いたしました。

名古屋大学減災連携研究センター減災館 (2014.4.28)

名古屋大学減災連携研究センターは、平成22年12月に発足して以来、南海トラフ巨大地震や伊勢湾台風の再来などに備え、様々な連携を通して減災を実現するために尽力されてきました。この3月に減災館が完成し、5月には一般公開の運びとなりました。

この減災館は、地上5階、地下1階建の建物そのものを揺らして、揺れ体感や様々な振動実験が可能な実験装置となる施設であり、平常時は災害研究や市民学習の拠点となります。

また、大地震などの際には災害対応拠点としての機能を発揮し、減災社会の実現に寄与するものと、大いに期待をしています。

私ども公明党も、大規模自然災害に対する防災・減災の観点から、社会基盤の再構築を迅速かつ重点的に推進することにより、生命、身体及び財産を守り、併せて経済の発展にも資する防災・減災ニューディールを唱え、自公連立政権を樹立しました。

昨年12月に成立しました国土強靭化基本法は、まさに我が党の考え方を反映したものであります。本県においても県土の強靭化に取り組んでおり、県民の皆様が安全・安心に暮らせる社会づくりを推進しています。更に、減災社会の実現に向けては、社会基盤のハード対策と併せ、産・学・官・民の連携というソフト面の対策も必要不可欠と考えています。

減災社会の実現に向けての現状と課題について、地域の連携拠点として尽力されている減災連携研究センターの福和先生に様々な角度から教えていただきました。

この減災館を維持していくためには、多くの人材が不可欠であると感じました。例えば、県内自治体の職員が勉強と研修を兼ねて輪番で常駐するなど、多くの手助けが考えられると思います。また、公共・民間を問わず、必要なものを守るために財政援助も必要であると考えます。減災連携研究センターにはますますご活躍いただき、県民の安全安心に貢献してくださることを切に望みたいと思います。



愛知県がんセンター (2014.5.8)



愛知県がんセンターは昭和39年に設立された、病院と研究所を併せ持つ、県立としては日本初のがん専門施設であり、本年12月で設立50周年を迎える運びとなりました。

この間、国立がん研究センター、財団法人 癌研究会 癌研究所と並び、我が国における主要がんセンターの一員として、がんの診断治療、予防並びに研究に取組み、がん対策基本法による都道府県がん診療連携拠点病院の指定を受け、財団法人 日本医療機能評価機構からversion 6の病院機能評価の認定書の交付を受けました。

また、国においては、がん研究の今後のるべき方向性と具体的な研究事項等について、平成26年度から「がん研究10か年戦略」を定め、がん研究の総合的かつ計画的な推進に取り組んでいくこととしております。

このような状況の中で、愛知県がんセンターの役割は益々重要になっています。しかし、組織を支えるのは人であり、特に看護師の方々は、がんセンターにとって必要不可欠で重要な戦力であります。

県民の方々に充実した医療を提供するにはスタッフの確保が必要ですが、現在、がんセンターの看護師は必要数を満たしておらず、女性が働き続けられるように仕事と子育てを両立できる労働環境を整備することが重要であります。

この度、看護師の方々の子育て支援の一環として、院内保育所を開設したことは高く評価しております。私ども公明党も昨年7月の参議院議員選挙のマニフェストに「女性の就業環境を整備」することを盛り込んでおり、今後とも女性の力を成長の原動力とし、引き続き働く環境の改善に取り組んでいきたいと思います。

わたちやんのフォト・NEWS

総合看護専門学校 (2014.2.26)



愛知県立総合看護専門学校は、昭和46年に開学し、以来40年を超える歴史の中で、7千名を超す看護師を育成、輩出している歴史ある看護専門学校です。

日本看護協会の調査によりますと2011年度の看護師の離職率は10.9%であり、看護師不足が社会問題となっている中、人づくりの現場としての総合看護専門学校の役割は大変重要であると考えます。

医療技術の発展に伴い、看護技術をはじめ、医療を支えるさまざまな技術もそれぞれ高度化しています。さらに、医療を提供する現場ではスタッフの専門分化が進み、特に看護職の技術は、医学的知識を人間へのケアに生かす大変重要な専門職であります。

先日、平成26年度当初予算の発表において、大村知事は「次世代を担う人づくりが特に重要である。これから愛知をつくり、支える人づくりに意を用い、予算を編成した。」と述べていました。

私まさに医療や福祉を支える人材の育成、「人づくり」が非常に重要であると考えています。

私たち公明党は、昨年7月の参議院議員選挙のマニフェストに「必要な介護・看護人材の確保、待遇改善を進める」ことを盛り込んでおり、今後も看護師の方々の待遇改善に向けて取り組んでいきます。

看護実践者育成の現場である総合看護専門学校を引き続き支援していきたいと思います。

名古屋市中川区の飯田農園 (2014.3.27)

農政の中長期的な指針となります「食料・農業・農村基本計画」の見直しに向けた議論が農林水産省の審議会で本年1月にスタートしました。

基本計画は、向こう10年間の農業政策の方向を示すもので、概ね5年ごとに見直されます。現行計画は2010年に策定されたもので、今後1年程度の議論を経て、新たな計画案が取りまとめられる予定となっています。

農業をめぐる課題のひとつとして、後継者不足の問題が挙げられます。2013年の統計によりますと、農業を主な仕事としている人は174万人に上りますが、年齢別に見ますと65歳以上の方が6割を占め、40歳台以下の方は1割に過ぎないと聞いております。

このような状況の中で、生産者が加工や販売までを一体的に行う「農業の6次産業化」は、所得の向上や雇用の創出、若者の就農促進など、多くの効果が期待できます。

本県においても6次産業化の推進を支援しており「6次産業化・地産地消法」に基づく事業計画の認定件数は、全国第6位の63件と成果を上げており、また、昨年の11月からは、個別相談に応じる6次産業化サポートセンターを設置するとともに、平成26年度は商品開発や加工施設の整備等への助成も行うこととしております。

私共公明党もマニフェストに6次産業化を推進し、地域の活性化へつなげていくことを盛り込んでおり、農業の高付加価値化を進めることとしております。

本日は、6次産業化に取り組んでおられる飯田農園（トマトを生産加工）さんの現状と課題について有意義な意見交換ができました。

飯田さんの「miuトマト」はとても甘くおいしかったです。トマトジュース、トマトパウダーの商品化、また、トマトビネガーやトマトソースはじめ新たな研究開発に余念のない素晴らしい青年農業家でした。飯田さんに感謝。頑張ってください。



知っていますか？

インターネットの正しい利用

守ろうルール！高めようモラルとセキュリティー!!

情報を集めたり、情報発信したり、買い物したりと、私たちの生活に欠かせなくなったインターネット。インターネット上は世界中の人々が集まることができる公共の場です。公共の場である以上、普段の社会生活と同じように、守るべきルールやマナーがあります。次のことにつけて、インターネットを上手に活用しましょう。



●人が不快に思うことはしない！

掲示板SNS、ブログなどに記載した何気ない一言が、誰かを不快にさせたり、傷つけてしまうことがあるかもしれません。

相手が見えないだけに、書き込みなどをする際は普段よりも気を使ってくださいね。

悪口や差別的な発言、ワイセツな表現などはもってのほかです！

●個人情報は記載しない！

インターネットの掲示板やブログなどのサービスを利用する際に、特に注意すべきことが個人情報の問題です。不特定多数の人が利用するインターネットですから、中には悪意を持っている人がいるかもしれません。むやみに電話番号・住所・氏名・年齢など、個人を特定できる情報や、クレジットカードなどの暗証番号、インターネット接続用のパスワードなどをインターネット上で記載しないように注意しましょう！自分だけでなく、家族や友人など身近な人の個人情報にも十分に気をつけておきましょう！

●著作権・肖像権について知っておこう！

「大好きなキャラクターの画像をホームページに掲載しよう！」と考える方も多いのですが、作者や権利元に掲載の許可を取るなどしない限り、それは著作権の

侵害にあたります。では「自分の撮影した有名人の写真をホームページに掲載するなら問題ない？」と思われるかもしれません、こちらは被写体となった本人などの許可を取るなどしない限り、肖像権の侵害にあたります。有名人だけでなく、一般人でも同じことです。これらを知らないことで、思わぬトラブルになることもありますので、注意してください！

●サイトの登録やアプリのダウンロードは慎重に！

インターネット上のサービスを利用する際に、いろんなサイトで個人情報の入力を求められますが、中には個人情報を集めることを目的にしている悪質なサイトもあります。スマホのアプリにも、ダウンロードすると個人情報を勝手に抜き取る悪質なものがあります。ソフトウェアの更新を行ったり、セキュリティーソフトを使うなど、しっかり対策しましょう。

●ネット依存にご注意！

友達とのメッセージのやり取りやゲームに夢中になって夜更かししてしまったり、他のことが手につかなくなったり…長時間のインターネット使用は、心身ともに悪影響が出ることも。利用時間や時間帯を決めて、健全にインターネットを活用してください。

消費者トラブルかなと思ったら、一人で悩まず、まず相談してください。

消費生活相談窓口

愛知県消費者ホットライン
身边な相談窓口につながります。

守 ろ う よ み ま な を
0570-064-370

東三河県民生活フラン

〒440-8515 豊橋市八町通5-4東三河総合庁舎1階

0532-52-0999

豊橋市消費生活相談室

〒440-8501 豊橋市今橋町1豊橋市役所東館2階

0532-51-2305

暮らしの相談窓口

■県議会執務室■

〒460-8501
名古屋市中区三の丸3丁目1番2号
電話〈052〉954-6714
FAX〈052〉961-2013

■事務所■

〒440-0813
豊橋市舟原町155 舟原マンション203
電話〈0532〉21-7200
FAX〈0532〉21-7228

■自宅■

〒440-0028
豊橋市多米東町二丁目20番地の12
電話〈0532〉62-9633
FAX〈0532〉64-4368

URL <http://www.watarai.org/>

E-mail katsuaki@watarai.org

◆ 県政へのご意見、ご要望など何でもお寄せください。また、法律・税務相談等もお気軽に ◆

※この県政ジャーナルは、わたらい克明の手作り新聞です。（再生紙を使用しています）